



ポスターセッションは、発表の形式の一つです。あるテーマについて、図、表、絵、言葉などを使ってまとめたポスターを提示しながら発表します。参加者は、興味がある発表を選んで聞いたり、質問や意見交換をしたりすることができます。

ポスターセッションの効果

ポスターセッションをすることによって、次のような効果があります。

- ① 図・表・絵などを使って、分かりやすく説明する力が伸ばせます。
ポスターセッションでは、調べたことと考えたことの中から、必要なことを選んでポスターにまとめます。紙面にかいた、図、表、絵などの資料を使って、参加者の反応に応じながら、分かりやすく説明する力を伸ばすことができます。
- ② 発表者と参加者の交流を深めます。
ポスターセッションでは、発表者と参加者（聞き手）の距離が近く、気軽に質問することができます。参加者は、分からないことや疑問に思うことがあるたびに質問をして、説明を聞くことができます。発表者は、質問されたことや参加者の意見などを参考にして、自分の考えを深めることができます。

ポスターセッションの展開例

- ① プレビュー
全体会を開き、発表者全員が、ポスターセッションで発表する内容を一人一分程度で話します。聞き手は、どの発表をどの順で聞くのかを決めます。
- ② ポスター準備
発表者は、聞き手が集まってきたら、ポスターを活用しながら説明を始めます。聞き手は、分からないことや疑問に思うことを質問し、発表者はそれに答えます。意見を交換することで、互いに考えを深めます。発表者は、人が来るたびに説明を行い、聞き手は、会場を回って興味ある発表を聞きます。
- ④ ポスター準備
ポスターセッション2
- ⑤ ポスターセッション2
セッション1とは、発表者が入れ替わりまです。学級の人数や会場のレイアウトによって、セッションを何回行うかが異なってきます。

【研究テーマを決めるときの留意点】

- ① 身近な問題で、研究する価値があるもの
- ② 具体的な情報が集めやすいもの
例えば……
 - ・ 日常の中で、よいと思うことや、問題とすることを研究する。
 - （身近な地域の自然、産業、歴史、人々のこと）
 - （地球温暖化、情報化社会、国際化社会など）
 - ・ 授業の中で、もっと知りたいことや疑問に思ったことを追求する。
 - （同じ作家の作品、実験・観察・調査したこと）

【会場配置図の例】

